

株式会社カネゲン

2022年度環境活動レポート

(2021年7月～2022年6月)



作成日：2022年8月30日

目次

1、環境方針		P. 2
2、登録事業所の概要		P. 2
3、環境経営システム組織図		P. 3
4、主な環境負荷の実績		P. 4
5、環境目標及びその実績		P. 4
6、環境活動の取り組み計画と評価及び次年度の取り組み内容	・	P. 5
7、環境関連法規制等の遵守状況		P. 6
8、本業に関わる取り組みを紹介		P. 6
9、代表者による評価		P. 7

環境方針

＜環境基本理念＞

株式会社カネゲンは、相互扶助の原理に基づいて三方よしの経営を行い、社員一人ひとりが地球環境の保全向上が人類共通の最重要課題であることを認識し、環境負荷の継続的低減及び持続的に発展できる社会の実現に寄与すべく全社一丸となって取り組みます。

＜環境経営方針＞

- 1、 当社の事業活動を通じて、二酸化炭素、産業廃棄物、使用総水量の削減に努めます。また、省資源、省エネルギーにつながる設備投資を継続的に検討・実施します。
- 2、 当社の事業活動を通じて、エコマーク商品やグリーン商品等、環境にやさしい商品の使用、販売を積極的に実施します。また取引先企業に対して環境経営の啓蒙活動をいたします。
- 3、 環境関連の法規制や遵守すべき事項を、企業の社会的責任として遵守します。
- 4、 全従業員に対して、この環境方針の周知徹底を図るとともに、技術的・経済的に可能な範囲で環境活動計画を設定し継続的に維持・改善を行います。また環境活動を公開します。

制定日 ： 2013年1月8日

株式会社カネゲン 代表取締役社長

兼杉裕介

□登録事業所の概要

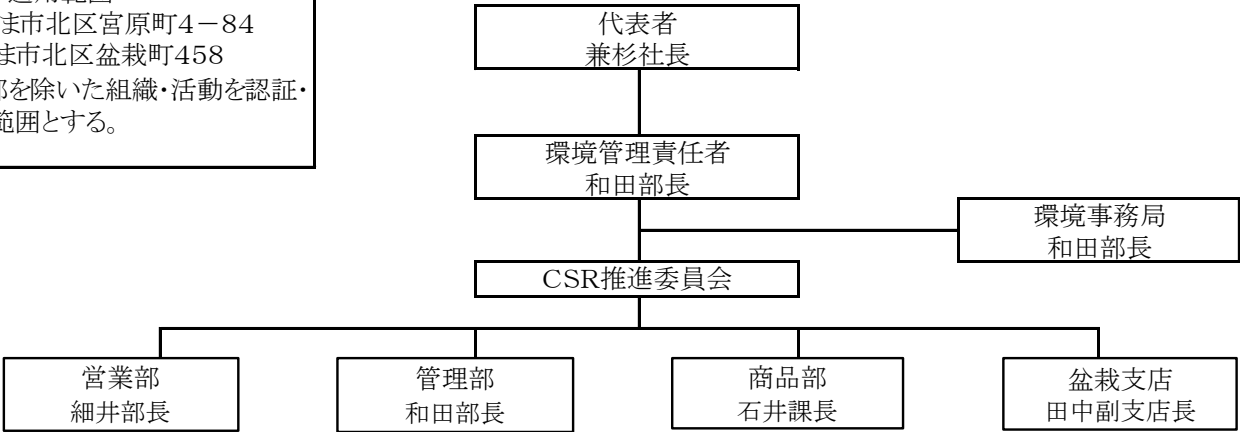
- (1) 事業所名及び代表者名
株式会社カネゲン
代表取締役社長 兼杉 裕介
- (2) 所在地
本社： 埼玉県さいたま市北区宮原町4丁目84番
盆栽支店： 埼玉県さいたま市北区盆栽町458
文具のプラス浦和店： 埼玉県さいたま市浦和区高砂1-12-1 コルソビル4F
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 管理部部長 和田 賢 TEL：048-667-4111
担当者 盆栽支店長 細井 英夫 TEL：048-871-5514
- (4) 事業内容（認証・登録の範囲）
文具・事務用品 卸売・小売
- (5) 事業の規模
年商（2022年度） 18.6億円

	本社	支店	浦和店
従業員	35名	18名	4名
延べ床面積	1386㎡	1337㎡	92㎡
- (6) 事業年度 7月～翌年6月
- (7) 対象範囲（認証・登録範囲）
小売部を除いた本社・盆栽支店、全活動を認証・登録範囲とする。
小売部は共用部分との切り分け困難の為、範囲から外す。

□環境経営システム組織図

株式会社カネゲン 環境経営システム組織図

認証・登録の適用範囲
住所:さいたま市北区宮原町4-84
さいたま市北区盆栽町458
活動:小売部を除いた組織・活動を認証・登録範囲とする。



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営における課題とチャンスを確認にする。 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・環境管理責任者を任命。 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。 ・環境目標・環境活動計画書を承認。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境活動レポートの承認。
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認。 ・環境目標・環境活動計画書を確認。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告。 ・環境活動レポートの確認。
CSR推進委員会	・CSRへの取り組みに関する企画立案。 ・CSR取り組み方針や施策などの浸透を図る。 ・CSR取り組み計画の進捗管理、管理体制の構築。 ・CSR社員教育・研修の実施。 ・CSR関連情報の収集と社内外への情報発信、啓発活動の推進。
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成。 ・環境活動の実績集計。 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成。 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境活動レポートの作成、公開。(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営システムの実施。 ・自部門における環境方針の周知。 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理。 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成。 ・自部門の問題点発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2014年度 2013/7-2014/6	2018年度 2017/7- 2018/6	2019年度 2018/7- 2019/6	2020年度 2019/7- 2020/6	2021年度 2020/7- 2021/6	2022年度 2021/7-2022/6
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /	76,577	62,462	65,806	62,533	65,159	68,038
廃棄物排出量	トン/年	—	45.63	46.67	39.08	35.80	34.82
一般廃棄物排出量	トン/年	—	3.35	3.11	2.39	2.72	2.88
リサイクル廃棄物排出量	トン/年	—	42.27	43.56	36.69	33.08	31.71
リサイクル率			92.7%	93.3%	93.9%	92.4%	91.1%
産業廃棄物排出量	トン/年	—	0.00	0.00	0.20	0.00	0.24
総排水量	m ³ /年	407	384	381	372	383	365

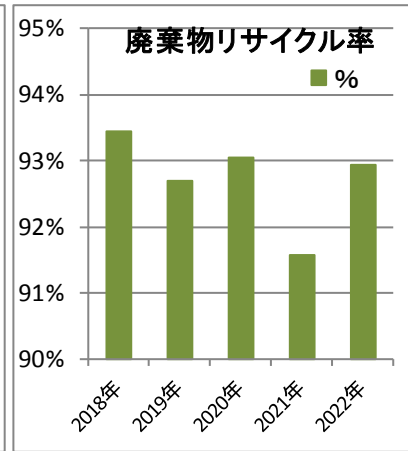
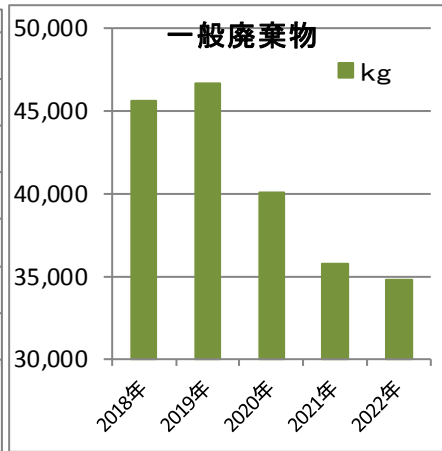
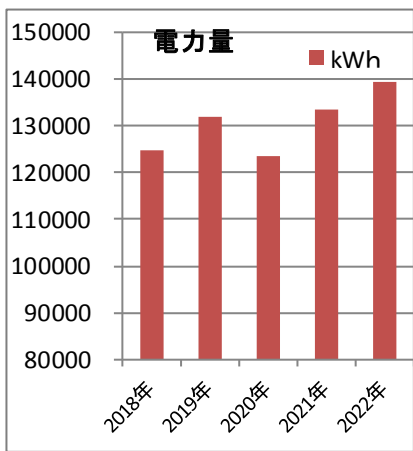
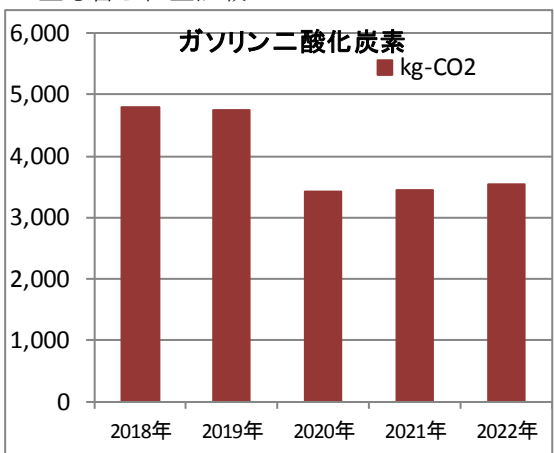
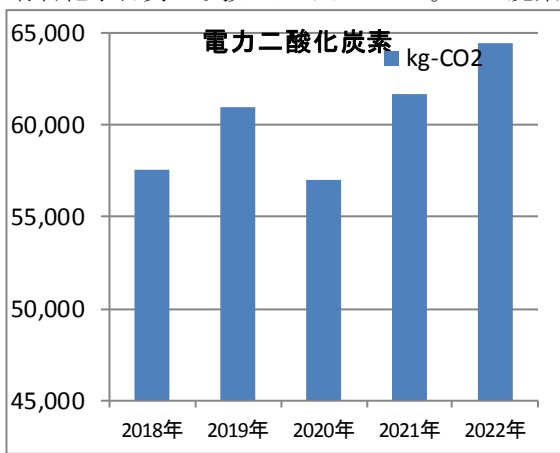
※廃棄物排出量に関しては基準年度は記録しておりませんでした。※廃棄物排出量は最終処分量にて記載

□環境目標及びその実績

年 度 項 目		2014年度 2013/7-2014/6 基準年度	2020年度 2019/7- 2020/6 (実績) 基準年度比	2021年度 2020/7- 2021/6 (実績) 基準年度比	2022年度 2021/7-2022/6 (目標) (実績) 基準年度比 昨年対比		2023年度 2022/7-2023/6 (目標) 基準年度比
電力の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	61,522	57,018 93%	61,634 100%	56,600 92%	64,453 105%	56,600 92%
ガソリンの二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	6,428	3,419 53%	3,437 53%	5,849 91%	3,512 102%	5,785 90%
液化石油ガスの二酸化炭素	kg-CO ₂	115	95 83%	88 77%	107 92%	73 83%	105 91%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	68,064	60,533	65,159	62,556	68,038	62,490
廃棄物の削減	(Kg/年)	49,657 比率による想定値	39,078 —	35,801 —	45,684 92%	34,824 97%	45,188 91%
産業廃棄物の適正処分	(Kg/年)	0	200 —	0 —	600 %	240 %	300 %
節水	(m ³ /年)	407	372 91%	383 94%	383 94%	365 95%	383 94%

※廃棄物排出量に関しては基準年度は記録しておりませんでした。

※有害化学物質の取扱いはありません。 ※廃棄物はリサイクル量も含む総量記載



口環境活動の取り組み計画と評価及び次年度の取組み内容

取り組み計画	達成状況		単位 基準年度比	評 価（結果と次年度の取組み）
電力の削減 ・事務所推奨設定温度推進（冷房28℃ 暖房20℃） ・不要照明の消灯を促進 ・機器類未使用時のOFF習慣 ・LED電球への変更 ・節電・クールビズ運動推進	基準年度 目標 実績	61,522 56,600 64,453	kg-CO2 92% 105%	夏場の酷暑により空調使用時間が長くなっている 空気循環の実施と不要照明消灯は継続 継続して新型コロナ対応換気で空調使用や窓の常時部分オープンも行い、社員体調管理優先 次年度は設備の見直しも踏まえ電力削減を推進していく
ガソリン使用量の削減 ・エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・車利用機会の削減 ・冷房の控えめ使用	基準年度 目標 実績	6,428 5,849 3,512	kg-CO2 91% 55%	エコ運転推進の運転日誌を継続実施。 公共交通機関利用を促進。 同乗人数や荷物量の記録を確認し、車両の適切度確認。 月1回空気圧点検継続。 Web商談推進
廃棄物のリサイクル率UP ・分別廃棄の実施 ・廃棄物削減方法の検討 ・分別処理場の見学 ・巻き芯ゴミ回収エコ活動継続 ・裏紙使用・PPC用紙使用量削 ・マイ箸・マイカップ・マイ水筒運動	基準年度 目標 実績 前年比	49,657 45,684 34,824	kg 92% 70%	まだ廃棄物の分別意識が低いと思われる。 次年度は廃棄物の分別の意識をあげる活動を実施していく。
産業廃棄物(廃プラ)の適正処	基準年度 目標 実績	— 300 0	kg % %	産廃収集エリアの変更を実施。 エリアの整理を実施し整理出来ている。 引き続き分別廃棄するように徹底する。
省資源 ・ペーパーレスの取組み ・使用済み用紙、裏紙の活用		— —		OA用紙の裏面活用の意識が低いように感じる 次年度は、管理表類の電子化やOA用紙の裏面活 使用推進を継続。
節水 ・節水の呼び掛け、POPの掲示 ・節水対策 ・水漏れチェック	前年 目標 実績	379 375 365	m³ 99% 96%	引き続き節水対応を継続。
本業に関わる環境への配慮 ・売上に対する事業所別 準社員人件費比率 (本社・盆栽) - 運賃荷造費比率 (本社・盆栽) - 包材費比率 (本社・盆栽) ・適正在庫比率の維持 (本社・盆栽) ・得意先への納品率UP (本社・盆栽)	目標 実績 目標 実績 目標 実績 目標 実績 目標 実績 目標 実績	本社 盆栽 1.15 1.75 1.19 2.07 1.40 1.50 1.65 2.24 0.16 0.10 0.30 0.15 50.0 55.0 33.3 52.8 96.0 99.4 96.71 97.60	% % % % % % % % % % %	作業効率のアップ及び物流に係るコスト低減により、環境への配慮を継続して進める。 効率化を意識し、業務に合わせた社内レイアウト変更や、出荷方法の改善・運賃交渉等、定期的に実施しており、毎月売上に対する数値化を行いチェックが出来ている。
総括（結果と今後の方向） ・電力以外については継続して目標を達成しており各自のエコアクション意識が向上している。しかし、夏場の酷暑・新型コロナ対応の換気の影響やなどにより電力については目標を大幅に上回ってしまった。電気料の値上げもあり、今まで以上の電力削減の取り組みが必要である。				

※廃棄物の実績集計は2013年度途中から実施した為、基準年度数値は未記入。
 ※二酸化炭素の排出係数は、東京電力の2018年度の実排出係数0.462kg-CO2/kWhを使用しました。

□環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属 [※] 、廃プラ、廃ガラス、廃油等）
資源有効利用促進法	リサイクル法
グリーン購入法	国・その他公共団体、地方公共団体：努力義務、国民：責務のみ
下水道法	公共下水道を使用
労働安全衛生法	職場における労働者の健康と安全を確保し、快適な作業環境をつくる
フロン排出抑制法	業務用空調設備の定期点検

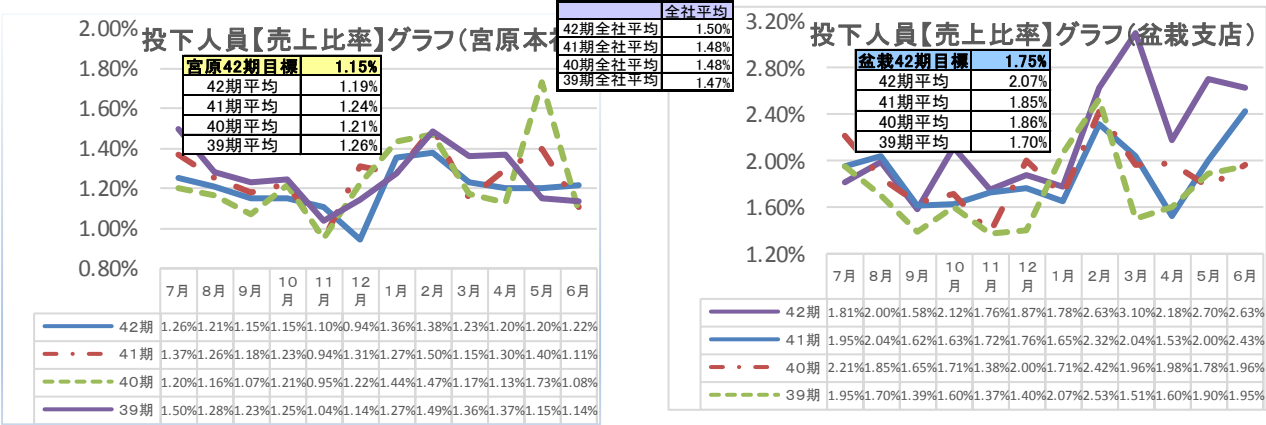
※廃棄物処理法遵守については、収集運搬者・処分業者との契約済、マニフェスト伝票（A票～E票）管理済、産業廃棄物管理票に関する報告書提出済、産業廃棄物置場の設置と看板表示済。

※過去5年間、環境関連法規制等への違反・訴訟及び環境に関する外部からの苦情はありませんでした。

※環境関連法規制等の遵守状況の定期評価・環境法規制等の逸脱はありませんでした。

□本業に関わる取り組みを紹介

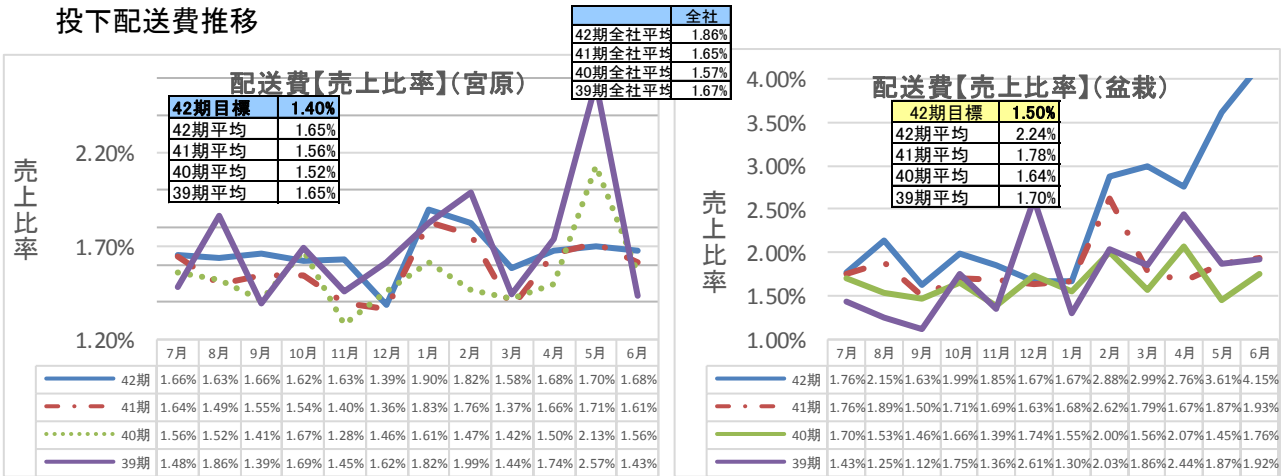
準社員投下人員比率推移（作業の効率化を図り、照明他機器類の節電を行う。）



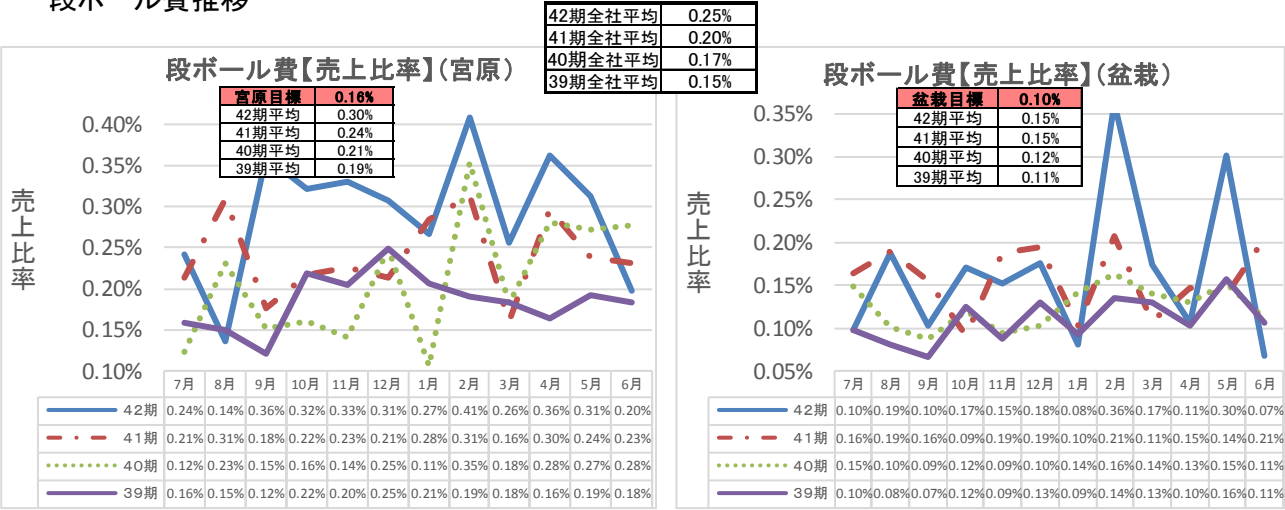
HTによる種まき検品作業の拡大（作業風景）



運賃荷造費比率推移（物流効率のUPを図り、包材・ガソリン等使用削減を目指す）



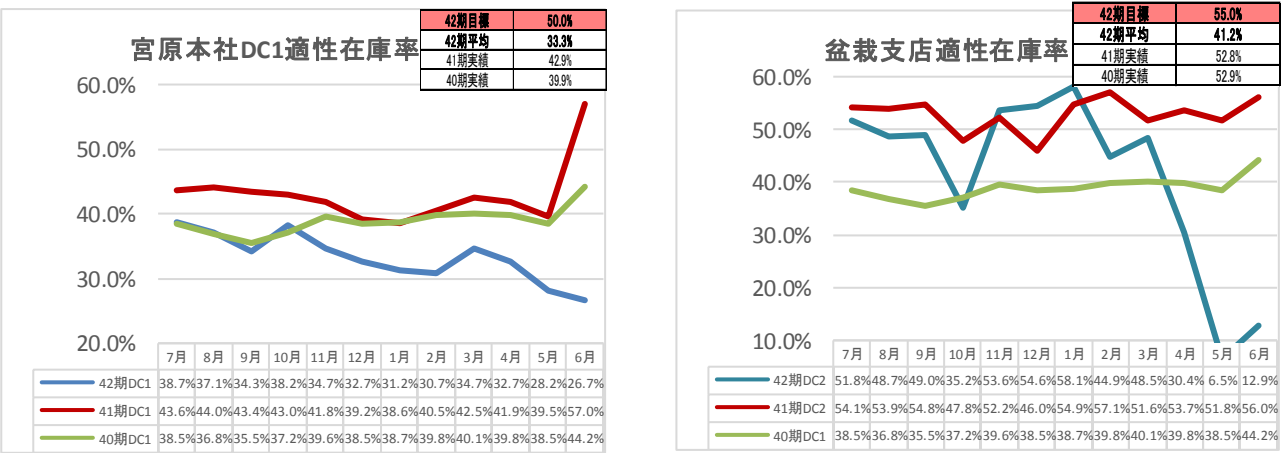
段ボール費推移



納品率推移 (在庫の適正管理を行うことで、運送回数の削減を行う)

42期納品率集計													
本社	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	平均
納品率	96.72%	97.52%	97.75%	98.07%	88.97%	96.82%	96.11%	96.29%	98.13%	97.34%	97.61%	97.51%	96.57%
当社欠品	1.78%	0.91%	0.75%	0.76%	0.68%	1.16%	1.89%	1.86%	1.06%	1.49%	0.75%	0.71%	1.15%
定番外発注	1.38%	1.32%	1.42%	1.00%	9.63%	0.96%	1.27%	1.12%	0.39%	0.66%	1.25%	1.44%	1.82%
メーカー欠品	0.10%	0.14%	0.07%	0.07%	0.28%	0.53%	0.50%	0.69%	0.42%	0.32%	0.39%	0.32%	0.32%
得意先発注ミス	0.01%	0.11%	0.00%	0.10%	0.44%	0.530%	0.239%	0.04%	0.00%	0.19%	0.01%	0.02%	0.14%
盆栽	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	平均
納品率	96.23%	94.72%	96.23%	94.70%	90.21%	86.14%	89.19%	90.58%	92.52%	95.33%	90.86%	96.27%	92.75%
当社欠品	0.00%	0.03%	0.01%	0.01%	0.00%	0.00%	0.04%	0.04%	0.01%	0.06%	0.08%	0.02%	0.03%
定番外発注	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
メーカー欠品	0.30%	0.46%	0.55%	1.16%	2.46%	5.50%	6.03%	3.06%	2.78%	1.28%	2.58%	2.32%	2.37%
得意先発注ミス	3.47%	4.79%	3.21%	4.13%	7.32%	8.35%	4.74%	6.32%	4.68%	3.33%	6.49%	1.39%	4.85%

適正在庫率推移



代表者による評価

エコアクション21の活動も8年を経過いたしました。コロナへの感染対策と環境対策の両立の難しさを感じた一年であったと思います。とくに電力使用量に関しては、酷暑の影響もあり、思ったような対策が取れませんでした。来年度へ向けて、感染対策との両立は必須であり、電気料金の値上げも想定されることから、しっかりと出来ることを実行に移し、目標達成へ向けPDCAを機能させていきましょう。温暖化が原因とみられる自然災害も増え、すでに我々に身近な問題となっております。個人個人が、環境対策への意識向上を図り環境負荷低減、無駄資源使用削減、自然環境保全に向けて努力していきましょう。

株式会社カネゲン 代表取締役社長
兼 杉 裕 介